



ご入園・ご入学 おめでとうございます!!



たくさんの子供たちが、希望を胸に、新たな門出を迎えました

幼稚園



光が丘さくら幼稚園

保育園



豊玉第三保育園

小学校



豊玉小学校

中学校



光が丘第二中学校

令和5年度の教育関連予算を紹介します

教育関連予算の構成比 令和5年度の教育関連予算は1,093億6,141万円であり、区全体の36.6%を占めています。

教育費【342億7,366万円】

- ①教育総務費【85億4,687万円】
教育委員会の運営、学校教育支援センターや図書館等の経費
- ②小学校費【123億2,367万円】
小学校の運営や施設管理等の経費
- ③中学校費【77億4,240万円】
中学校の運営や施設管理等の経費
- ④幼稚園費【56億6,072万円】
幼稚園の運営や施設管理等の経費



教育費
11.5%

こども
家庭費
25.1%

区全体の当初予算額
2,987億543万円

福祉や防災、まちづくり等その他
分野の経費
1,893億4,402万円(63.4%)

こども家庭費【750億8,775万円】

- ①こども家庭総務費【318億8,788万円】
児童手当やねりっこクラブの運営等の経費
- ②保育委託費【325億5,978万円】
私立保育所等の運営補助等の経費
- ③青少年費【1億9,341万円】
青少年育成活動や成人の日のつどい等の経費
- ④児童福祉施設費【101億6,687万円】
区立保育園や児童館等の運営や施設管理等の経費
- ⑤児童福祉施設建設費【2億7,981万円】
区立保育園や児童館等の改修・改築等の経費



令和5年度の主な事業

教育分野

夢や目標を持ち困難を乗り越える力を
備えた子どもたちの育成(69億1,249万円)

- ①ICTを活用した教育内容の充実
- ②教員の働き方改革の推進
・ICTを活用した校務改善
・教員の業務や部活動における支援の拡大
- ③学校施設の整備
・小中学校校舎等の改築、長寿命化改修に着手(工事3校・設計5校)
・体育館の空調整備(小学校11校、中学校7校)
- ④不登校児童生徒、ヤングケアラーの支援の充実
・(仮称)子ども相談アプリの導入
・専門職であるスクールソーシャルワーカーの増員(16名から20名に増員)
- ⑤医療的ケア児等への支援の充実



こども分野

保育サービスの充実(67億2,399万円)

- ①保育のICT化の推進
・6年度の入園選考にオンライン申請を導入
- ②保育サービスの充実
・障害児の受入体制を拡大
・区独自の職員加配・処遇改善の継続
- ③待機児童ゼロの継続
・新たに私立認可保育所9園(定員485名)を開園

児童相談体制「練馬区モデル」の進化
(2億7,829万円)

- ①(仮称)東京都練馬児童相談所の設置
・5年度 施設内改修工事
・6年度 設置予定
- ②子ども家庭支援センターの相談体制を強化
・区の子ども家庭支援センターの専門職員を8名増員

子育てサポートの充実(15億9,271万円)

- ①すべての妊婦・子育て家庭への寄り添い支援
・オンライン面談を開始するなど、妊娠期から産後まで切れ目のない相談体制を充実
- ②子育て支援サービスを「知る・探す・申し込む」ことのできる(仮称)ねりま子育て支援アプリを構築
- ③練馬こどもカフェの拡大
・実施店舗の拡大(計8店舗)
・店舗主体で講座を企画する自主運営型の実施

小学生等の放課後の居場所の充実(31億3,609万円)

- ①ねりっこクラブ実施校の拡大(新たに7校開設)
- ②区独自の待機児童対策「ねりっこプラス」の継続
- ③児童館「中高生カフェ」の充実

【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)

ヤングケアラーへの支援を充実します

～学校と地域、区の関係機関などが連携して取組を進めます～

ヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに合わない重い責任や負担を負うことで、子供本人の育ちや教育に影響が出る可能性があります。子供の心身の健やかな成長のためにヤングケアラーの早期発見・支援につなげる取組が必要です。

(1) ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のことを言います。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

厚生労働省のホームページから転載しています

(2) ヤングケアラーへの支援とは

子供の気持ちを大切にしながら、話を聞いたり、見守ったり、子供が家庭で担っている負担が軽くなるように公的サービスにつなぐなど、学校と地域、区の関係機関などが連携して一人ひとりに応じた支援を行います。

地域で心配な子供を見つけたら…

子ども家庭支援センターへご連絡ください。

電話：3993-8155

(3) ヤングケアラー支援の取組

日常の学校生活や児童生徒へのアンケート調査(年3回)などによりヤングケアラーの可能性のある子供を発見します。

学校は、学校教育支援センターや子ども家庭支援センターなど子供に関わる区の支援機関につなぎます。

学校から連絡を受けると、スクールソーシャルワーカーや子ども家庭支援センターの相談員は、保護者や子供の話をお聞きします。

家庭の状況に応じて、家庭を訪問したり、学校と地域、区の関係機関などと連携して、子供の家庭での負担が軽くなるように公的サービスの利用につなぐなど、子供の気持ちに寄り添い支援します。

【問合せ】学校教育支援センター 支援調整係(電話6385-9911)

妊娠期から出産・子育てまでを応援します



妊娠・出産した方に、出産・子育て応援ギフトを支給しています！！

	妊娠届出時	出生届出後
申請方法	練馬区で妊婦面談を受けたら 申請案内をお渡しします	こんにちは赤ちゃん訪問を受けたら 申請案内をお渡しします
申請期限	妊娠中	生後6か月
ギフト内容	妊娠・子育てに役立つ商品や、支援サービスで使えるカタログギフト 【商品例】 家事支援・育児支援サービス、ベビー服、スタイ、ミルク、おしりふき、おむつ、家電、おもちゃ、チャイルドシート、ベビーチェア、抱っこひも など	
	1+5万円相当	10万円相当 ※令和5年4月1日以降出生の場合

●申請方法などに関しては区ホームページをご確認ください。

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/shussan/20230110.html>



【問合せ】健康推進課 出産・子育て応援担当係(電話5984-1336)



「保育でつながろう」という取組を通して

～区立関町保育園～



「保育でつながろう」という取組を通して、地域の私立保育園と様々な交流を持ち、情報交換を行っています。

私たちの園では、「応答的な関わりの中で主体的に遊び生活する」をテーマに子供たちの興味を保育士がキャッチし、作品などの制作活動を展開しています。地域の保育園の方に実際の作品を見ていただきながら、保育士がどのようにきっかけを提供し、子供たちの心が動いて活動に参加するようになったか、完成した作品を見た子供たちの様子を話し合いました。

4歳児の作品のタコでは、5歳児の作品に刺激された姿を見た保育士が材料を用意すると、興味をもった子供たちが赤い紙をちぎって貼り始めました。次第に「楽しそうだな、やってみよう」と制作が苦手な子供の気持ちが動きだしました。関わり方は様々でしたが、出来上がった大きなタコを見て、みんなで作った達成感を味わうことができました。



情報交換の様子



4歳児の共同作品のタコ



【問合せ】 保育課 管理係(電話5984-5839)

第41回練馬こどもまつりを開催します

「第41回練馬こどもまつり」は、児童館17館、厚生文化会館、地区区民館21館の全39館を会場に分散開催します。

開催日時は、令和5年5月13日(土)10時～16時(雨天実施)です。

当日は遊びや工作など、子供や親子が楽しめるイベントを実施します。2つの会場を回ると素敵なグッズがもらえるスタンプラリーも実施しますので、ぜひお近くの会場へ遊びに来てください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kodomo/jidokan/kodomomaturi/kodomomaturi.html>

※詳しい内容や詳細は「練馬こどもまつり」で検索してください。



【問合せ】 子育て支援課 児童館係(電話5984-5827)

令和5年度練馬区青少年育成活動方針を策定しました

区では青少年育成活動方針に基づいて、地域と一緒に、青少年の健全な育成を図っています。令和5年度の練馬区青少年育成活動方針では、以下の目標を示しています。方針の全文は、区内の保育園や幼稚園、区立小中学校などで保護者に配布するほか、区民事務所(練馬を除く)や図書館、青少年課(区役所本庁舎11階)などで配布します。また、区ホームページでもご覧いただけます。

目
標

- 1 心のかよう明るい家庭づくりを進めよう
- 2 青少年の社会参加の機会を増やそう
- 3 健全で安全な社会環境づくりを進めよう
- 4 家庭・学校・地域・関係機関の連携を深めよう

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/seishonen/hakkojoho/hoshin.html>

※方針の全文は「青少年育成活動方針」で検索してください。

【問合せ】 青少年課 青少年係(電話5984-4691)



令和4年度 練馬区立学校の研究発表

教育委員会では、区立幼稚園、小中学校、小中一貫教育校の中から毎年10校(園)程度を「教育課題研究指定校」などとして指定し、幼児・児童・生徒の学力や体力の向上、心の教育の充実などの教育課題に関する研究を推進しています。令和4年度、研究発表を行った学校の取組を紹介します。

思いや願い・課題をもち、探究する子供の育成

～地域に働きかける生活科・総合的な学習の時間～

開進第三小学校
(令和4年11月11日発表)

研究の取組

自分事として思いや願い・課題を見出し、地域の創り手として、『探究的な学び』を創造しました。

研究の成果

地域の方との意見交流を通して自分の考えを広めたり、まとめる力や、よりよいものにしていくとする力を育むことができました。



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入に関する研究

練馬東小学校
光和小学校
豊浜中学校
(令和4年11月18日発表)
※3校による合同発表

研究の取組

学校・地域・保護者が学校教育の充実に向けて、繰り返し議論をし、学校と地域が一体となって教育活動に取り組みました。

研究の成果

これまで以上に地域の方々の協力を得ることにより、児童・生徒の興味・関心を高める教育活動の充実が図られました。



21世紀型学力の向上

石神井西中学校
(令和5年1月20日発表)

研究の取組

21世紀型学力として、「主体的に考え、学びに向かう力」の育成に向けて、「問いの工夫」や、「活動の工夫」について研究に取り組みました。

研究の成果

生徒が協働して考える活動をととして、自分の考えを深め、思考力や主体的に学ぶ意欲を育むことができました。



豊かな心の育成を実現していく小中一貫教育の取組～児童・生徒一人一人の幸せを求めて～

光が丘春の風小学校
光が丘第二中学校
(令和5年2月17日発表)

研究の取組

豊かな心を育成するために、「特別活動」「道徳教育」「特別支援教育」の3つの視点から、研究に取り組みました。

研究の成果

他者と協働しながら合意形成を図ろうとする姿勢や周りの人を大切にしようとする心を育むことができました。



【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

ひらいてとじた 笑顔がふえた

(2023年こどもの読書週間 標語)

さあ、みんなで図書館に行こう！

「4/23は子ども読書の日、4/23～5/12はこどもの読書週間」

区立図書館では、「子ども読書の日」と「こどもの読書週間」の記念事業として、各館で楽しい催しやおはなしの会などをたくさん開催しています。ぜひ図書館にお越しください。詳しくは、区報(4月1日号)や図書館ホームページをご覧ください。各館にお問い合わせください。



【区立図書館ホームページアドレス】
<https://www.lib.nerima.tokyo.jp/index.html>



【問合せ】光が丘図書館 子供事業統括係(電話5383-6500)

情報を正しく活用するために、子供と一緒に考えてみませんか

インターネットを介して使う機器の適切な使用方法をご家庭で話すきっかけとなるよう、「情報リテラシーチェックシート」を作成しました。情報リテラシーとは、情報機器の取扱いやモラルなどを含んだ、情報を正しく活用していく力のことです。

区立小中学校では、児童・生徒がタブレットパソコンを様々な学習で活用しています。学校以外でも、スマートフォンやゲーム端末などからインターネットを介して社会とつながる機会が増えています。

SNSに個人情報を投稿する、オンラインゲームで課金するなど、使い方によっては保護者が予想しなかったトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあります。

このような事態を避けるためには、学校だけでなくご家庭でも、子供たちが情報リテラシーを身に付けるようにすることが大切です。



小学校低学年向け



小学校高学年向け



中学生向け

情報モラルや機器を使用する際の健康面について11個の設問があります。このチェックシートは、上記の二次元コードや区立小中学校で子供たちが使うタブレットパソコンのブックマークから取り組むことができます。

【問合せ】教育施策課 教育施策担当係(電話5984-1290)

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしておりますので、下記のホームページアドレス、または二次元コードからアクセスし、「教育だよりへのご感想・ご要望について」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

教育総務課 庶務係 <教育だより ホームページアドレス>
<<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikudayori.html>>

